

ジェネリック医薬品、 バイオシミラーが 使えます！



ジェネリック医薬品ってどんなクスリなの？

「ジェネリック医薬品」は、お医者さんが処方する医療用の医薬品で、これまで使われてきたお薬（先発医薬品）の特許が切れた後に、同じ有効成分を含み、効能・効果などが同等であると国から認められて発売されるお薬です。

ジェネリック医薬品は、開発期間が短く、開発費も抑えられるので、その分価格が安くなります。**安くても品質は先発医薬品と同等です。**

◎窓口でお支払いいただく患者負担金は、お薬の費用のほか、調剤料などが加わります。

先発医薬品



《開発期間》
約 9～17 年
《開発費用》
約 300 億円以上

ジェネリック医薬品



《開発期間》
約 3～5 年
《開発費用》
約 1 億円

ジェネリック医薬品は 先発医薬品と同じじゃないの？

効き目や安全性は、先に発売された医薬品と同等です。

ジェネリック医薬品では、先発医薬品と異なる添加剤を配合することがありますが、有効性及び安全性に影響しないことが認められたものを使用しています。

また、新しい技術で、味や飲み易さ、使用感が改良されたものもあります。

形状の変更



味や臭いなどの改良



薬の量の半量化



バイオシミラーってどんなクスリなの？

「バイオシミラー」は、ジェネリック医薬品と同じように、先に発売されているバイオ医薬品^{*1}（先行バイオ医薬品）の特許が切れた後に他の会社から発売されるお薬です。

バイオシミラーは、先行バイオ医薬品と効果や安全性が同等／同質であることが確認されています。先行バイオ医薬品に比べて価格は安く、患者さんの経済的な負担を軽減する^{*2}ことが期待されます。

バイオシミラーが使われている病気の例

糖尿病、潰瘍性大腸炎、クローン病、関節リウマチ、特発性関節炎、骨粗鬆症、がん、腎性貧血 など



先行バイオ医薬品



値段は安い
(約70%)



有効性(効き目)や
安全性は同等^{*3}



バイオシミラー



- ※1 バイオ医薬品は、生物の力を利用してつくられるお薬です。糖尿病の治療に使われるインスリンや、がんやリウマチの治療に使われる抗体医薬品などがあります。バイオ医薬品の開発や製造には、高い技術と最先端の設備が必要なため、お薬の価格は高くなります。
- ※2 自己負担額が高くなりすぎないようにする仕組み(高額療養費制度)との関係で、バイオシミラーを使っても、自己負担額が必ずしも下がらない場合もあります。詳しくは医師や薬剤師にご相談ください。
- ※3 先行バイオ医薬品と同じ基準に従って製造され品質も確保されていますが、先行バイオ医薬品が複数の効能・効果を持っている場合は、バイオシミラーがその全ての効能・効果を持っているわけではないことがあります。

なぜ、ジェネリック医薬品や バイオシミラーを使うの？

ジェネリック医薬品やバイオシミラーの使用は、医療の質を落とさずに一人ひとりの保険料の負担軽減につながるほか、優れた医療保険制度を次の世代に引き継いでいくことにも貢献します。

令和4年度の国民医療費は46兆6,967億円で、前年度に比べ約3.7%増加しています。ジェネリック医薬品やバイオシミラーの普及により、患者さんの経済的な負担の軽減だけでなく、医療保険財政の改善にもつながります。

国民医療費の推移と富山県の医療費の推移



令和4年度国民医療費の概況 厚生労働省保険局調査課

財源別国民医療費(令和4年度)

令和4年度
国民医療費
46.7兆円



◎国民医療費は、財源が異なっても出所は全て国民の負担です。